



堅田くじら保育園だより 12月



発行：大津市堅田1丁目7-18
TEL 548-8288 Fax 548-8287

つめたい風に木々が葉を落とし、冬の準備を始めています。これからの季節は、寒さに耐え、春に芽を出すための栄養を蓄える時期です。

保育園では、11月は各チームともに散歩に出かけて、秋の自然にたくさん触れることができました。自然の中で体を動かし心も開放されて楽しむことができました。また、幼児が収穫したさつまいもを焼き芋にしてみんなでいただきました。芋を洗ったり、ホイルに包んだり、準備もして園庭で焼いてもらいました。芋の焼ける匂いも感じながらあそび、焼けるまでの時間も楽しみました。準備もしてみんなで食べる経験に子どもたちは大喜び、「お芋、おいしかったね！」と何度も話してくれました。心に残る経験となったようです。

目に見える成長は感じにくいかもしれませんが、そんな時は芽を出せるように土の中でしっかりと根をはっているとき。木々と同じように、子どもたちの成長も見えない部分も大切に、春にしっかりと芽を出せるよう準備をしていきたいと思えます。



1年の締めくくり 12月

今年もあと1ヵ月となりました。

幼児クラスは、新しい年を気持ちよく迎えるために、1年間過ごしたお部屋に感謝の気持ちを込めて、できる範囲で掃除をします。楽しかったことを振り返るとともに、大きくなった喜びを感じながらできるといいなと思えます。



★ おねがい

- ・朝の受け入れの際は、玄関のサーマルカメラで検温後、保育室前まで送っていただきますようお願いいたします。
- ・インフルエンザ等、冬の感染症が流行しやすくなる季節です。体調が悪い時は早めに受診して体調管理に努めましょう。
- ・12月29日～1月3日までは年末年始のため休園となります。着替え等を一度持ち帰っていただきますので、サイズや名前が消えていないかなどの確認をお願いします。

★ 1月の予定

- ・1～3日まで休園
 - ・11日(火) 身体測定(0・1歳児・幼児)
 - ・12日(水) 身体測定(2歳児)
 - ・19日(水) 避難訓練
 - ・20日(月) 誕生会
 - ・1/31～2/12 実習生受け入れ
 - ・2/19(土) 発表会(幼児のみ)
 - ・2/21～乳児クラス懇談会
- ※現時点での予定です。

12月行事

1	水	スポーツ教室
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	身体測定0・1歳児・幼児
11	土	
12	日	
13	月	身体測定2歳児
14	火	避難訓練
15	水	スポーツ教室
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	誕生会
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	クリスマス会
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	休園(～1/3まで)
30	木	↓
31	金	↓

11月15日より、^{ごめんたいが}古村泰雅保育士が勤務しています。よろしくお願ひします。



批判の言葉

親はわが子の間違いを正すために、悪い子だとか、態度がよくないとか、不器用だとか、子どもっぽいとか、何をやらせてもできないなどと言うことがあります。こうした批判の言葉を聞くと、子どもは拒絶されたように感じ、自分はだめなのだと思ってしまいます。

子どもは自分を悪い子だと思うようになると、私たちが悪いと思うことをする可能性が高くなります。自分は何もできないのだと思うと、新しい技術をマスターしようとする意欲が弱まります。

子どもは学習者です。知識や技術を身につけるためには、私たちが頼りなのです。私たちの励ましと支えが子どもには必要です。

自分を大切に思える気持(自尊の感情)が強い子どもは、挑戦をためらわないので、そうでない子どもよりもいい結果を出します。また、自分は失敗にうまく対処できているので、より前向きな気分であるものです。さらに、親が自分を信じていると知っているため、親との関係も良好です。

親は子どもの自尊感情を育てるために、いろいろな手助けができます。たとえば、

- 結果が完璧でなくても、努力をほめる
- 子どもの手伝いたいという気持ちに感謝する
- 子どもが失敗したときには支え、あきらめないようにはげます
- わが子が大切である理由をすべて伝えておく

私たちはみな、励ましを受けると、のびるものです。批判のかわりに励ましの言葉をかければ、それはお子さんに絶大な効果をもたらすでしょう。

「ポジティブ・ディシプリンのすすめ」より



大人になった時に、どんな人であってほしいか…。親としてはいろいろと願いますね。

そんな大人にするために、日々子育てをがんばっておられることと思います。

子育ての最終目標は、自分で生きていく力を育てていくことでもあります。

子どもは「今」を求め、泣いたり怒ったりぐずったりします。でも、私たち大人は「今」ではなく大人になった時の最終目標を思いながら子どもとかかわっていきたいですね。とはいうものの、「今」やらないと・やってほしい…ということも毎日の生活のなかではたくさんあるでしょう。大きな生活の流れは大人がにぎりつつ、小さなところで選択肢を与えたり気持ちの受け止めをしてみたりすると意外にスムーズに進むこともあります。「もう何やってるの！」というより「自分でやってみたんや!?!」、「また、〇〇して!」と怒るより「〇〇したら△△して。」と励ましや支えとなる言葉に替えていきたいですね。子どもは「悪いことをしよう」としてはやっていません。励ましの言葉をかけ、お互い気持ちよく過ごせるように支えていけるといいですね。